

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年10月7日)

- 1 シルバーウィークの主要観光施設等の入込客数について
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムの開催結果について
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 秋の香港チャーター便の運航概要について
【観光戦略課】・・・4ページ
- 4 ジャマイカ交流協議団の派遣について
【交流推進課】・・・5ページ
- 5 第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加について
【交流推進課】・・・9ページ
- 6 10月のまんが関連イベントについて
【まんが王国官房】・・・10ページ

観光交流局



シルバーウィークの主要観光施設等の入込客数について

平成27年10月7日
観光戦略課

1 対象期間

9月19日(土)～9月27日(日)の9日間(うち土・日・祝日7日間)。昨年は、9月13日(土)～9月23日(火)の11日間、うち土・日・祝日6日間)

平成27年	19日(土)	20日(日)	21日(月)	22日(火)	23日(水・祝)	24日(木)	25日(金)	26日(土)	27日(日)		
(平成26年)	13日(土)	14日(日)	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火)

平日

2 概況

【全体】

○主要観光施設の入込人数(9日間、うち土・日・祝日7日間)は、昨年(11日間、うち土・日・祝日6日間)と比較し、約7万9千人(21.2%)の増。

○今年は、5連休もあり、天候も良かったため全般的に増加したと考えられる。

【東部地区】

○鳥取砂丘周辺については、昨年と比較し約1万8千人(15.3%)の増。

○砂の美術館の入館者は、約1万人(36.2%)の増。

○氷ノ山自然ふれあい館「響の森」は、イベント実施等により約4千3百人(632.9%)の増。(昨年はリニューアル工事中)

【中部地区】

○青山剛昌ふるさと館は、約5千5百人(175.6%)の増。

○鳥取二十世紀梨記念館は、約5千9百人(154.0%)の増。

○中国庭園燕趙園は、20周年記念イベント等で約8百人(40.9%)の増。

【西部地区】

○水木しげるロードは、約3万人(23.7%)の増。

○夢みなとタワーは、約1千人(56.2%)の増。

○とっとり花回廊は、約5千2百人(57.6%)の増。

3 施設毎の入館者数

(単位:人、%)

所在地	観光施設名	平成27年(9日間)	平成26年(11日間)	増減数	対前年比
東部	鳥取砂丘	82,825	79,944	2,881	+3.6%
	砂の美術館	38,436	28,229	10,207	+36.2%
	鳥取砂丘こどもの国	15,573	10,519	5,054	+48.0%
	鳥取童謡・おもちゃ館	4,160	3,858	302	+7.8%
	地場産プラザ「わたいな」	48,627	47,165	1,462	+3.1%
	氷ノ山自然ふれあい館 響の森	5,050	689	4,361	+632.9%
	石谷家住宅	1,356	1,371	▲15	▲1.1%
中部	鳥取二十世紀梨記念館	9,800	3,858	5,942	+154.0%
	白壁土蔵群・赤瓦	19,807	20,809	▲1,002	▲4.8%
	青山剛昌ふるさと館	8,614	3,126	5,488	+175.6%
	中国庭園燕趙園	2,850	2,023	827	+40.9%
西部	水木しげるロード	156,690	126,717	29,973	+23.7%
	水木しげる記念館	12,909	8,771	4,138	+47.2%
	夢みなとタワー	3,047	1,951	1,096	+56.2%
	とっとり花回廊	14,245	9,037	5,208	+57.6%
	大山まきばみるくの里	26,471	23,723	2,748	+11.6%
合 計		450,460	371,790	78,670	+21.2%

<参考>砂丘周辺施設

所在地	観光施設名	平成27年(9日間)	平成26年(11日間)	増減数	対前年比
東部	鳥取砂丘	82,825	79,944	2,881	+3.6%
	砂の美術館	38,436	28,229	10,207	+36.2%
	鳥取砂丘こどもの国	15,573	10,519	5,054	+48.0%
合 計		136,834	118,692	18,142	+15.3%

第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムの開催結果について

平成27年10月7日

緑豊かな自然課

観光戦略課

第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）山陰海岸シンポジウムの開催結果について、下記のとおり報告する。

記

- 1 会期 平成27年9月15日（火）～20日（日）
- 2 場所 京丹後市（京都府）、豊岡市・香美町・新温泉町（兵庫県）、鳥取市・岩美町（鳥取県）
- 3 テーマ ジオパークネットワークと人々の暮らし〔Geoparks : Networking and Society〕
- 4 参加者数 ジオパーク関係者等 618人（うち海外366人）
 ※海外参加者の出身国（21カ国）
 中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、インドネシア、タイ、イラン、フランス、ドイツ、ギリシャ、イギリス、スペイン、トルコ、ノルウェー、スロベニア、オーストラリア、ウルグアイ、ケニア、エジプト

5 主な日程

日にち	開催地	開催概要
日本ジオパークネットワーク		
15日（火）	京丹後市	ガイドフォーラム等
16日（水）		
アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム		
17日（木）	豊岡市	開会式/基調講演（一般公開）、分科会、ポスターセッション、ウェルカムパーティー（まちバル）
18日（金）	豊岡市等	開会中ツアー
	鳥取市	【鳥取県関連事業】ジオパーク大交流会
19日（土）	鳥取市	全体会議/基調講演（一般公開）、分科会、ポスターセッション、フェアウェルパーティー、【鳥取県関連事業】ジオパーク科学実験教室、一般向けジオパーク講座等
20日（日）	鳥取市等	閉会后ツアー（オプション）

6 開催結果

○国内外からジオパーク関係者等618人の参加があり、ツアーや市民との交流イベント等を通じ、山陰海岸ジオパークの魅力をPRできた。

【参加者の主な声】

- ・今回の大会では、多くの市民と交流でき、山陰海岸の文化、歴史に触れることができ、非常によかった。（ギリシャ ジオパーク関係者）
- ・神鍋高原や鳥取砂丘、浦富海岸などのジオサイトで、観光活用や教育活用の取組が行われており、参考になった。（韓国 ジオパーク関係者）
- ・ツアーの際に、多くの民間ガイドが対応するなど、地域の多くの人がジオパーク活動に関わっていることに感心した。（マレーシア ジオパーク関係者）

○アポイ岳（北海道）をはじめ9地域が世界ジオパークの新規認定、室戸（高知県）はじめ23地域の再認定が発表され、これにより世界ジオパークは33か国120地域となった。

【世界ジオパークの内訳】

ヨーロッパ	23か国69地域	アフリカ	1か国 1地域
北アメリカ	1か国 2地域	アジア	6か国46地域
南アメリカ	2か国 2地域		（うち日本 8地域）

○基調講演、分科会等で活発な議論が行われ、今後のジオパーク活動の指針として山陰海岸宣言がまとめられ、発表された。

（山陰海岸宣言は、別紙のとおり）

○本県が主催したジオパーク講座、ジオパーク科学実験教室、さかなクントークショー等にも、多くの一般市民の参加があり、ジオパークに関する知識や興味、関心を高めることができた。

7 今後の取組

今回のAPGN山陰海岸シンポジウム開催により、国内外のジオパーク関係者に山陰海岸ジオパークを認識していただいた。この成果を踏まえ、国内外のジオパークと連携しながら、山陰海岸ジオパークが世界のジオパークの模範となるようブラッシュアップを図る。

(別紙)

山陰海岸宣言

ランカウイ宣言、ハノイ宣言、済州島宣言を受けて、第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムは、2015年9月17日から19日までここ日本の山陰海岸ジオパークで開催され、22カ国から618人の関係者が出席した。その審議後、以下を宣言する。

1. 世界ジオパークの領域において地球規模で考え地域で行動する

大地の遺産はダイナミックな地球の貴重な天然資源であり、地域の視点から我々の地球を明確に理解する基盤を与えてくれる。世界ジオパークは、国際的に重要な大地の遺産を有する地域であるが、そこを訪れる人が地域社会の活動を通じて自然と人間の関係や地球の価値を得ることができる場所である。世界ジオパークネットワーク (GGN) とアジア太平洋ジオパークネットワーク (APGN) の加盟地域は、その地域の価値やその世界的な重要性について、人々が誇りを持てるようにしながら、地域社会からの活動を基にした大地の遺産の保全と持続可能な経済開発を促進する。

2. 地域の文化と歴史に関連した地質多様性の認識

地域の文化や歴史はしばしばその地域の地質多様性によって形成されてきた。その関係を認識することは、自然保護と持続可能な経済開発を可能にする重要な視点の一つである。世界ジオパークは、大地の遺産とその地域の自然・文化・無形遺産との関係を調査・開発し称賛する。世界ジオパークの活動は、我々のダイナミックな地球において、社会に向けられている主要な問題への気づきを促進させる。

3. 自然災害への意識と災害低減への教育の認識

地震・火山噴火・津波・河川氾濫や地すべりといった様々な自然災害は、世界の多くの地域でしばしば起こる。地域社会にとって、これらの自然災害に関わる地質特性を明確にすることは重要である。世界ジオパークは、大地の遺産と地域社会の文化・歴史を通じて自然災害を防ぐ教育が地域の人々になされることを促進し、奨励する。

4. ネットワーキングを通じた世界ジオパーク活動

連携と協力を通じて人材能力を強化するために、GGN 加盟地域間でのネットワーキングを促す。GGN、APGN、そして各国のジオパーク加盟地域は、地域社会から世界的な連携まで様々なレベルでのネットワークを構築し、地域の再活性化とともに大地の遺産の保全を行う。アジア太平洋地域には、多くの民族や文化が存在する。この地域において効果的に各々のジオパークを運営するために、協力と相互理解は何より大切である。APGN は、GGN の進展に合わせて、アジア太平洋地域のGGN 加盟の広域ジオパークネットワークとして機能しつづける。APGN は人材と情報の相互交流の強化も促進する。

5. 次世代のための世界ジオパーク

多くの国で大きな都市を持たない地域では、人口減少、高齢化社会や自然災害のリスクなどの共通した問題がみられる。自分の地域に対して誇りを持った若い世代の関わりが、それらの地域の再活性化や自然災害低減には必要である。世界ジオパークは、若い世代に対して、自然と地域の文化・歴史との関係についての理解や地球のよりよい理解を通じた自然災害低減についての教育を奨励する。

6. 第38回ユネスコ総会でのユネスコ世界ジオパーク設立に向けて

APGN は「地球科学とジオパークの国際プログラム」(IGGP) が2015年11月の第38回ユネスコ総会において承認されることを強く期待している。自然保護、持続可能な地域開発そして地域社会の教育を含む世界ジオパークの活動は、このユネスコの新しいプログラムによって、より強化され拡大されるであろう。

山陰海岸ジオパークにて合意
2015年9月19日

秋の香港チャーター便の運航概要について

平成27年10月7日
観光戦略課

香港の訪日旅行取扱最大手である香港EGLツアーズが今秋に実施するチャーター便の概要(発着時間帯、ツアー行程等)を報告します。

併せて、おもてなし体制構築のためのタスクフォース会議を以下のとおり開催しました。

1. 秋季チャーター便(案)の概要

- (1) 実施時期：平成27年10月21日(水)～12月20日(日)の間に16往復。
 <詳細日> 10/21(水)、25(日)、29(木)、11/2(月)、6(金)、10(火)、14(土)、18(水)、22(日)、26(木)、30(月)、12/4(金)、8(火)、12(土)、16(水)、20(日)
- (2) 離発着空港：香港国際空港(11:30発)→米子鬼太郎空港(15:30着) HX2632便
 米子鬼太郎空港(17:00発)→香港国際空港(20:00着) HX2633便
 ※初便のみ米子鬼太郎空港(14:55着)→米子鬼太郎空港(17:00発)の予定。
- (3) 運航会社・機材：香港航空(A320/174人乗) ※2014年春実施の際の航空会社
- (4) ツアー催行会社：香港EGLツアーズ(主席兼執行董事(社長)：袁文英「えん・ぶんえい」)
- (5) ツアー来客者数：最大2,610人(174人×15ツアー)
- (6) ツアー行程(現在オープンにされているもの)

①コース1(JBEJ05)

日程	行程案	宿泊施設
1日	<IN>香港国際空港→米子鬼太郎空港	鳥取県内(大山ロイヤル)
2日	・二十世紀梨記念館→姫路城→心齋橋	神戸市又は奈良県内
3日	・USJ	岡山県内
4日	・倉敷美観地区→倉敷アウトレット→宮島→広島市	広島県内
5日	・由志園→一畑百貨店 <OUT>米子鬼太郎空港→香港国際空港	

②コース2(JBEE05)

※青山剛昌ふるさと館に変更あり

日程	行程案	宿泊施設
1日	<IN>香港国際空港→米子鬼太郎空港	鳥取県内(大山ロイヤル)
2日	・二十世紀梨記念館※→妖怪列車→水木しげるロード→広島原爆ドーム 他	広島県内
3日	・宮島→秋吉台	山口県内
4日	・錦帯橋→倉敷アウトレット	岡山県内
5日	・後樂園→日吉津イオン <OUT>米子鬼太郎空港→香港国際空港	

③コース3(JBEB05)

日程	行程案	宿泊施設
1日	<IN>香港国際空港→米子鬼太郎空港	島根県内
2日	・武家屋敷→足立美術館→宮島→広島市内	広島県内
3日	・広島原爆ドーム→平和公園→広島イオン→今治タオル工場 他	愛媛県内
4日	・栗林公園→瀬戸大橋→倉敷アウトレット 他	鳥取県内(鳥取ニューオータニ)
5日	・妖怪列車→水木しげるロード <OUT>米子鬼太郎空港→香港国際空港	

④コース4(JBEH05)

日程	行程案	宿泊施設
1日	<IN>香港国際空港→米子鬼太郎空港	鳥取県内(大山ロイヤル)
2日	・妖怪列車→水木しげるロード→由志園→平和公園 他	広島県内
3日	・宮島→厳島神社→今治タオル工房 他	愛媛県内
4日	・栗林公園→瀬戸大橋→倉敷アウトレット 他	岡山県内
5日	・後樂園→日吉津イオン <OUT>米子鬼太郎空港→香港国際空港	

2. タスクフォース会議の概要

- (1) 日時：平成27年9月18日(金) 15:00～16:00頃
- (2) 場所：本庁舎第四応接室
- (3) 出席者：副知事、観光交流局長、西部総合事務所地域振興局長、中部総合事務所地域振興局長 他 構成メンバー(計15名)
- (4) 会議趣旨：香港チャーター便の概要等についての情報共有、各おもてなし内容等の進捗等整理

ジャマイカ交流協議団の派遣について

平成27年10月7日
交 流 推 進 課

先週の安倍首相とシンプソン・ミラー首相との会談を受け、本県としてもジャマイカ・ウエストモアランド県との姉妹提携に大きく踏み出すとともに、ジャマイカとの陸上交流を進めるため、副知事を団長とした交流協議団を次のとおり派遣しています。

1 派遣目的

- ウエストモアランド県との姉妹都市提携に向けた交流協議及び現地調査
- ジャマイカ陸上競技連盟との陸上交流についての交流協議
- 2020年東京オリンピックでのジャマイカ陸上チームのキャンプ地誘致への支援を要請

2 派遣者 副知事、交流推進課長ほか2名（計4名）

3 派遣期間：10月4日（日）～10日（土）

月 日	主 な 行 程
10月4日（日）	渡航
10月5日（月）	□ジャマイカ陸上競技連盟訪問 □駐ジャマイカ日本国大使館訪問
10月6日（火）	□キングストンカレッジ訪問 キングストン市⇒ウエストモアランド県
10月7日（水）	□ウエストモアランド県訪問・視察
10月8日（木）～10日（土）	帰国

【参考1】安倍首相とシンプソン・ミラー・ジャマイカ首相との首脳会談

○会談概要（外務省発表の「日・ジャマイカ首脳会談」より抜粋）

両首相は、8月の世界陸上北京大会の機会にジャマイカ・チームが鳥取県で事前合宿を行い地元と交流を深めたことを歓迎し、5年後には東京オリンピック・パラリンピックもあり、地方同士の交流がスポーツを通じて活発化することに期待を表明しました

【参考2】ウエストモアランド県の概要

- (1) 面積 807 Km²（鳥取市よりもやや大きい）
- (2) 人口 144,103人（2011年国勢調査）
- (3) 首 長 バーテル モーア氏
- (4) 県 都 サバンナ・ラ・マール市
- (5) 位 置 ジャマイカの最西端、首都キングストンの西200 Km
- (6) 特 徴

○ジャマイカ第2の観光地ともいわれるネグリルは、白浜が7マイル（11km）続くビーチリゾートで、夕陽の眺めが美しいことで非常に有名。毎年12月には市民マラソン「世界一楽しいレゲエマラソン」も開催されています。

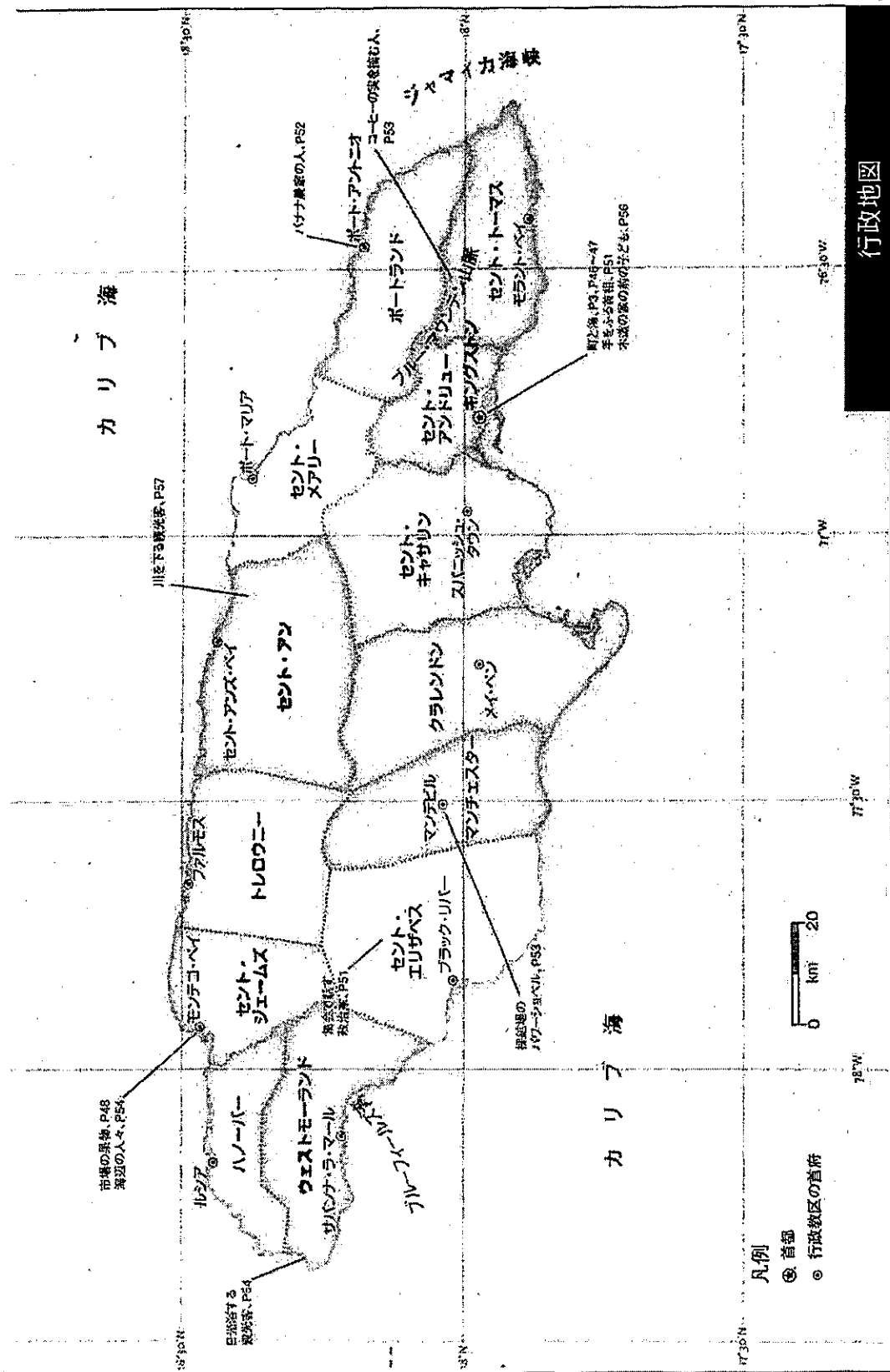
○ネグリルを中心に観光業が盛んなほか、豊かな自然の恵みにより農業や漁業が盛んで鳥取県に通じる部分があります。

(7) 鳥取県との関係

○鳥取キャンプに参加し、世界陸上北京大会2015に出場した以下の選手の出身地である。

- ・ステファニー・マクファーソン選手：4×400mリレー金メダル、400m5位
- ・カリース・スペンサー選手：400mハードル8位

ジャマイカ地図 (行政区分図)





MAYOR OF SAVANNA LA MAR
COUNCILLOR BERTEL MOORE

Tel: 955-2647

P.O. Box 1
Savanna La Mar

ジャマイカ・ウエストモアランド県 モーア市長書簡
(和文仮訳)

2015年7月27日

中野正則
日本国駐ジャマイカ大使閣下
在ジャマイカ日本国大使館

大使閣下、

この書簡は、ウエストモアランド県と日本の自治体との姉妹都市提携の実現のために、在ジャマイカ日本国大使館のご協力を要請するためのものです。

姉妹都市提携へ向けた私たちの目的は、文化、経済、教育、その他様々な協力活動を通じて、個人との間で、あるいは地域社会の間での相互理解や関係の育成を促進することです。

私たちは、日本が、美しい自然や豊かな文化に満ち溢れていることを学びました。日本の国土はすばらしい自然に恵まれ、きれいな山なみや木々、川や湖、海があり、四季折々の美しい表情を見せてくれます。日本は、また、伝統的な文化、建築、芸術、芸能の宝庫であり、19箇所にあつた世界遺産が登録されています。ファッションやエンターテインメント、アニメーションは、日本が積極的な役割を果たしている、新しい文化的な分野です。

さらに、私たちは、日本が驚くべき速さで発展を遂げており、非常にすぐれた科学技術を有していると承知しています。日本が世界有数の企業を多数輩出していることがその証左です。現に、ジャマイカの道路を走っている自動車の実に90%以上は日本製です。

したがって、私たちの将来の発展のために、日本には、私たちが学ぶべき多くの知識や知見があると考えようになりました。日本の自治体との文化交流や教育交流を通じて、私たちは、とりわけ、私たちの子供やその後続く世代の者達のための教育を発展させ、強化していくことを希望しています。

もちろん日本にはたくさんの魅力的な自治体があることを存じ上げておりますが、私たちはとりわけ姉妹県協定の相手先として鳥取県に関心を寄せています。その理由のひとつとして、今年の夏に開催される世界陸上北京大会において、鳥取県がジャマイカチームのキャンプ地に選ばれていることが挙げられます。2020年の東京オリンピックにおいても同様に、鳥取県がジャマイカチームのキャンプ地となることを私たちは望んでおりますし、その実現に向けて鳥取県を陰ながら応援していきたいと考えています。

別の理由としては、鳥取県が豊かな歴史的、文化的遺産を有していると聞いているためです。さらに、鳥取県には、美しい海と新鮮な魚介類があることも聞いています。私たちの郷土も、美しいビーチと美味しい魚介類が自慢です。ウエストモアランドにあるネグリルの町のビーチと夕陽の眺めは、様々な世界的雑誌で、トップ10の観光地に選ばれています。こうした理由から、私たちは、鳥取県との協力関係を築き、鳥取県とウエストモアランドが手を取り合い、お互いの都市の魅力を世界に向けてより効果的に発信できるようにしていきたいと考えています。

このような見地から、私たちは交流事業や姉妹都市協定の構想を進めていくために、鳥取県と連絡を取りたいと考えています。こうした対話を円滑に進めるために、日本国大使館からも、日本の関係機関へ連絡していただけたら嬉しく思います。

日本国大使館からのご理解とご協力に心から感謝いたします。

敬具

バーテル・モーア
ウエストモアランド県議会議長兼
サブ라마市長

第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加について

平成27年10月7日
交流推進課

第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットが大韓民国江原道の主催により、江原道襄陽郡で開催されます。

- 1 開催日 平成27年10月22日(木)
- 2 場所 韓国江原道襄陽郡
- 3 参加地域 江原道(韓国)、吉林省(中国)、沿海地方(ロシア)、中央県(モンゴル)、鳥取県
- 4 行事

(1) サミット本会議

- ア 日時 平成27年10月22日(木)
13:30～15:50 特別講演、基調発言、意見交換、共同宣言文署名
15:50～16:20 記者会見
- イ 会場 襄陽ソルビーチホテル&リゾート
- ウ テーマ 「平和と繁栄の中心、北東アジアの新たな飛躍！－北東アジア物流ネットワークの活性化方案－」
- オ 参加者 【江原道】崔文洵(チェ・ムンスン)知事
【吉林省】蔣超良(ジャン・チャオリャン)省長
【沿海地方】ミクルシェフスキー・ヴラジーミル知事
【中央県】ドルジ・バヤルバト知事
【鳥取県】平井伸治知事
- カ その他 サミット本会議の終了後、各首長との二地域間会談が予定されている。

(2) 関連事業

- ・経済協議会(23日(金))…商工労働部 所管
- ・環境保護機関実務代表者協議会(23日(金))…生活環境部 所管
- ・美術作品展示会(22日(木)～25日(日))…地域振興部 所管
- ・マスコミ代表者会議(22日(木))…新日本海新聞社 参加
- ・GTI 国際貿易・投資博覧会(22日(木)～25日(日))…商工労働部 所管、県内企業 参加

【参考】前回(第19回)サミット本会議の結果概要

年月日	平成26年7月21日(月)
場所	モンゴル国ウランバートル市
テーマ	北東アジア地域間協力の成果実用化促進のための新たな方策
出席者	【江原道】崔文洵(チェ・ムンスン)知事 【吉林省】巴音朝魯(バーインジャオル)省長 【沿海地方】スタリチコフ・アレクセイ国際協力・観光発展局長 【中央県】ドルジ・バヤルバト知事 【鳥取県】平井伸治知事
合意事項	・地域社会・経済の持続的成長、自然環境保全への取組強化、相互連携 ・産業、経済ビジネス、自然環境保全分野における共同プロジェクトの可能性を追求 ・北東アジア地域の交通網の維持・発展、物流円滑化に向けた相互連携・中央政府への働きかけ ・各地域で開催される国際事業の歓迎と積極的な支援、観光客誘致の相互支援 ・教育、文化、科学、医療、スポーツ、芸術分野での相互派遣及び青少年交流の推進
関連行事	経済協議会、環境保護機関実務代表者協議会、美術作品展示会、マスコミ代表者会議

10月のまんが関連イベントについて

平成27年10月7日
まんが王国官房

次のとおりまんが関連イベントを開催し、鳥取県の魅力を発信します。

<主催イベント>

1 高知×鳥取まんが王国会議 2015 in AKIBA

高知県と締結した「まんが王国友好通商条約」に基づき、東京での情報発信を目的に両県で毎年実施しているイベント。3年目となる今年は両県出身の漫画家、声優が登壇し、まんがにまつわるトークイベントを行うほか、展示や県産品の販売を行う。

(1) 概要

ア 期 日 平成27年10月25日(日) 13:00~14:30

イ 会 場 東京 秋葉原「ベルサール秋葉原」

ウ 主 催 鳥取県、高知県

(2) 出演者

鳥取県	<p>アダチ ケイジ 漫画家。鳥取県米子市出身。講談社『モーニング』で「グラゼニ〜東京ドーム編〜」を連載中</p> 	<p>下田 麻美 (しもだ あさみ) 声優。鳥取県鳥取市出身。 代表作：THE IDOLM@STER 双海亜美・真美役 IS インフィニット・ストラス 鳳鈴音役</p> 
高知県	<p>窪之内 英策 (くぼのうちえいさく) 漫画家。高知県高知市出身。代表作は「ツルモク独身寮」。イラストレーターとしても活躍中。</p> 	<p>島本 須美 (しまもと すみ) 声優。高知県高知市出身。 代表作：ルパン三世 カリオストロの城 クラリス役 風の谷のナウシカ ナウシカ役</p> 

(3) 同時開催イベント（「ベルサール秋葉原」で開催）

- ・『秋フェス』2015 秋（主催：秋フェス実行委員会）

秋葉原への国内外のお客様誘致や街の回遊促進。企業や地方と連携したイベントを開催。

- ・「秋葉原ハロウィンパーティー2015」（主催：エイベックス・ヴァンガード（株））

エイベックスのアイドルが大集合するハロウィンイベント。秋葉原で初の開催。

2 鳥取×ソウル まんが王国 in チェミロ/まんが王国とっとり展

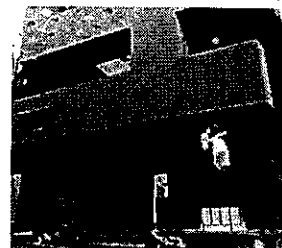
鳥取県と韓国ソウル特別市との間で締結した「マンガを活かした地域づくりに関する業務連携協約」に基づき、ソウル市の漫画通り「チェミロ」において「まんが王国とっとり展」を開催し、韓国での情報発信と誘客促進を図る。

(1) 概要

ア 会期 平成27年10月30日(金)～12月31日(木)
※10月30日には記念セミナーを開催し、相互に「まんがによる地域づくり」を学ぶ。

イ 会場 ソウル市漫画文化空間「チェミラン」

ウ 主催 鳥取県とソウル特別市との共催



(2) 展示内容

- ・まんが王国とっとり満喫の旅に誘う鳥取県の魅力を紹介
- ・まんが王国ととりが生んだ3巨匠と作品世界の展示

3 「まんが王国とっとり満喫」ハロウィンコスプレツアー

世界アニソン大会優勝者や人気ブロガーがハロウィン衣装に扮して鳥取県内をバスで巡り、フェイスブックやYou Tube を使って「まんが王国とっとり」を始めとした鳥取県の魅力を世界に発信する。

(1) 概要

ア 期日 平成27年10月31日(土)

イ 内容 鳥取砂丘コナン空港～城北高校相撲部屋見学～仁風閣・燕趙園でコスプレ撮影～白壁土蔵群練り歩き～三朝温泉で日本文化体験～米子鬼太郎空港

ウ 主催 鳥取県

<支援イベント>

1 第五次米子映画事変

さまざまなアプローチで映画やポップカルチャーに切り込むイベント。人気企画「3分映画宴」、映画関係者によるトークショーなど。

(1) 概要

ア 期日 平成27年10月24日(土)・25日(日)

イ 会場 米子市商店街、ガイナックスシアターほか

ウ 主催 米子映画事変実行委員会

2 第10回ゆるきゃらカップ in 鳥取砂丘

全国から70体以上のゆるキャラが鳥取砂丘に集合し、駅伝、パラグライダー、運動会(なわとび、すもう、39m走、リレー)に挑戦する。

(1) 概要

ア 期日 平成27年10月31日(土)・11月1日(日)

イ 会場 鳥取砂丘、鳥取砂丘こどもの国

ウ 主催 ゆるキャラカップ in 鳥取砂丘実行委員会

